

安全運転に協力を！

渡辺組が本社前で街頭啓発

横断幕等掲げ呼びかけ

【網走発】安全運転に協力を（株）渡辺組（遠軽、渡辺博行社長）は十五日、国道二四二号沿いの同社本社前で交通安全街頭啓発を実施。横断幕やのぼりを掲げ、渡辺勉副社長らが道行くドライバーに交通安全グッズを配布し、交通事故根絶へ協力を求めた。

同社では、夏と秋の全国

交通安全運動に合わせて、平成十九年から街頭啓発に取り組んでいる。ことしで十年目、十九回目を迎えた今回の活動には、役員や作業員ら四十人余りのほか、遠軽警察署員と道警インボルマスコット「ほくとくん」も参加した。街頭啓発活動に先立ち、渡辺副社長があいさつ。こ



れから工事も本格的になる。交通事故・労働災害に「遭わない・起こさない」ことを念頭にやってもらい

たい」と呼びかけた。また、応援に駆けつけた遠軽警察署の井澤清司署長は、交通安全運動四つの重点を説明し、交通事故の根絶に向け協力を求めた。

このあと、街頭啓発活動をスタート。遠軽署の警察官が通行車両を誘導し、渡

辺副社長や井澤署長らが、ペットボトルのお茶、啓発チラシを詰め合わせた交通安全グッズ百セットを配布し「安全運転をお願いします」などと声をかけながら、ドライバーに交通事故の根絶を訴えた。

このほか、参加者全員が「交通安全」と書かれたたすきをかけて国道沿いに整列。スピードダウンの励行やシートベルト着用の徹底を訴える横断幕や、「飲酒運転根絶」「おもいやり運転を」などと書かれたのぼり旗を手に、安全運転を啓発した。のぼり旗は活動終了後、各現場などに持ち帰って掲揚するという。